

## 事後評価シート

|               |   |
|---------------|---|
| 調査研究課題名       | 社会資本整備等における資金調達に関する研究（phase2）<br>～海外の PFI における資金調達とわが国の課題～  |
| 担当者           | 主任研究官 長野幸司、主任研究官 奥原崇<br>研究官 高森秀司、研究官 江岡幸司   |
| ①当初目標と目標達成度   | <p>民間資金を幅広く集めて社会資本整備に投入する仕組みを導入することに資するべく、①先進事例のイギリス、オーストラリア等における金融市場を通じた資金調達の仕組み、諸制度、情報開示手法等の調査、②金融市場からの資金調達手法の我が国の社会資本整備手法への適用可能性の検討及び課題の抽出を目標に研究を行った。我が国の社会資本整備手法への適用にはまだ課題が多く残されているものの、当初目標は概ね達成できたと考えている。</p>  |
| ②調査研究内容の妥当性   | <p>社会資本整備における新たな資金調達手法（プロジェクトファイナンス等）について、金融分野からではなく建設分野からみての現状認識と課題検討は他にまだ類例のない調査であり、イギリスやオーストラリアにおいて、株式投資、債券発行、銀行融資の経緯と状況など、多くの知見を得ることができた。</p>   |
| ③調査研究の仕組みの妥当性 | <p>本研究では、文献調査、ヒアリング（建設会社、機関投資家、金融機関等）、海外の実態調査を行い、海外の PFI の資金調達に関連する様々な視点から、実態の把握と課題等を整理することができた。よって調査研究の仕組みは妥当であったと考える</p>  |
| ④成果と活用        | <p>学会などで研究成果を発表するとともに、今後の国土交通施策の検討に資する。</p>   |
| ⑤その他          |   |
| 意見            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ わが国の公共事業における民間資金調達についての問題意識に関する記述が抜けている。→研究に至る経緯を1章に追加する。</li> <li>・ 研究の主旨は、公共事業の資金調達の選択肢を増やすことであろう。ミクロ的には事業は従来の手法でよいものもあるが、マクロ的に多様な選択肢が必要。→「多様化の視点」を追加。</li> <li>・ PFI の研究（第2版）であることがわかりにくい→題名を変更</li> <li>・ 債券や株式で作った社会資本もある→一般公開と PFI 限定とした。</li> </ul> |